

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会的養護内容	演習	1	山川 宏和
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> テーマ:児童福祉施設及び家庭的養護におけるケアの実際から、保育士に求められる援助技術とは何かを学ぶ。 到達目標:様々な場面や個性に合わせた援助の方法が理解できる。			
<b>【授業の概要】</b> 1. テキストを基に、各回のテーマについて講義し、グループワークを中心とした演習を行う。 2. 必要に応じてDVDなどの映像素材を使用する。 3. グループワークを基礎にしたポスターを作成して、成果を発表する。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. 社会的養護のアフターケアについて(1) 就職			
2. 社会的養護のアフターケアについて(2) 大学進学			
3. 社会的養護児童の自立について 自立援助ホーム			
4. 新しい社会的養育ビジョンと小規模化について			
5. 記録について(1)ジェノグラム			
6. 記録について(2)エコマップ			
7. 社会的養護の実践(1) アドミッションケア			
8. 社会的養護の実践(2) インケア			
9. 社会的養護の実践(3) リービングケア PCIT トリプルP			
10. 社会的養護の実践(4) アフターケア グループワークの各課題への参加			
11. 社会的養護のグループワーク(1) ポスターづくりの準備			
12. 社会的養護のグループワーク(2) ポスター製作			
13. 社会的養護のグループワーク(3) ポスターセッション			
14. アフターケアの実践(京都・福岡)			
15. 試験およびまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: テキストの該当箇所を読んでおく			
学習のあり方: DVD 素材の内容等もメモをとる			
復習のあり方: 返却されるワークシートを復習する			
<b>【成績評価】</b>			
平常試験(55%)、提出物(45%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
提出されるワークシートに採点し、コメントを記入して返却する。			
<b>【テキスト】</b>			
安藤和彦、石田慎二、山川宏和編「社会的養護内容演習」、建帛社			
<b>【参考文献】</b>			
特になし			